

わ

く

わ

く

7・8月号



本 だ な



『むかし日本にほん狼おおかみがいた』

菊池日出夫／文・絵 福音館書店

むかし、日本の山には、おおかみがすんでいました。おおかみは山のかみさまといわれ、ふもとの村人たちにおそれられています。男がうしをひいて山みちをあるいていると、えものをさがすおおかみたちがあつまってきました。

えほん
(1年生～)

K913 『おばけのばけひめちゃん』

たかやまえいこ／作 いたうみき／絵 金の星社

ばけひめちゃんは、おばけ山のおしろにすむおひめさま。まわりはおとなのおばけばかりでたいくつしていません。ある日、にんげんの子どもがえんそくにくるときいて、おしろをぬけだしました。

1・2年生



K913 『シナモンのおやすみ日記』

小手鞠るい／作 北見葉胡／絵 講談社

なつみは、かわいいねこの絵がいっぱいのノートをおみやげにもらいます。ねこは、とつぜんいなくなった飼かいねこのシナモンにそっくりでした。それから毎日、ノートに日記をつけると、シナモンから返事がとどきます。

3・4年生

K913 『旅のお供はともしゃれこうべ』

泉田もと／作 岩崎書店

惣そう一郎いちろうは、「大黒屋だいこくや」の一人息子。父から使いをたのまれて旅に出ましたが、お供いちぞうの市蔵いちぞうに全財産ざいさんを持ちにげされてしまいます。落ちこむ惣一郎に話しかけてきたのはなんと、人間の頭がい骨「しゃれこうべ」でした。

5・6年生





えほん
(1年生～)

『このあと
どうしちやおう』
ヨシタケシンスケ／作
ブロンズ新社



えほん (2年生～)

『夜空をみあげよう』
松村由利子／文 ジョン・シェリー／絵
渡部潤一／監修
福音館書店



『ぼくのおばあちゃんはキックボクサー』

ねじめ正一／作 山村浩二／絵 くもん出版

ぼくのおばあちゃんは、キックボクシングせかいおばあちゃんきゆうチャンピオン。おじいちゃんとのまいにちのトレーニングはかかせません。けれどもある時、おじいちゃんがびょうきでにゆういんすることになりました。

1・2年生

『つちはんみょう』

館野鴻／作・絵 借成社

つちはんみょうという虫は、生まれたままではわずか4日しか生きられません。そのため、ヒメハナバチというハチのなかまの巣にもぐりこむのです。おとなの虫になるために、ひっしに生きるようすをのぞいてみましょう。

えほん
(2年生～)



4年生～

K518 『新津春子。世界のおそうじマスター!』

若月としこ／著 岩崎書店

マスターとは、名人のことです。新津春子さんは、世界一きれいな羽田空港で、そうじのチームをひきいるリーダーです。17歳のときに中国から日本へ来て、そうじの仕事をはじめ、ついには、そうじの名人になったのです。

ちしきの本

K369 『ハーネスをはずして』

ほっかいどうもうどうけんきょうかいのろうけん
北海道盲導犬協会の老犬ホームのこと』

辻恵子／著 あすなろ書房

もうどうけん
盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩くための助けとなる犬です。犬は10年ほどはたらき、その後、引退します。では、引退した盲導犬はどうなるのでしょうか？ 世界で初めてつくられた、札幌にある老犬ホームをしょうかいします。

ちしきの本



5年生～

としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200